令和７年度　授業計画

ビジネス科　２年Ｄ組

教　　科	商　　業	科目(単位)	原価計算（５単位）
使用教科書	原価計算（ＴＡＣ）		
授 業 形 態	通常授業　・　分割授業　・　ＴＴ		

※分割授業とは、クラスを少人数クラスに分割して授業を行うことを意味します。
※ＴＴ（チームティーティング）とは、複数の教師がチームを組んで指導にあたることを意味します。

１　科目の目標

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、原価情報の提供と活用に必要な資質・能力を育成する。

２　科目の内容と授業の進め方

・製品の製造にかかった費用である原価の基礎的な考え方や原価の計算方法、および工業簿記の仕組みや記帳方法について、一連の記帳例題を通して理解を深めることが大切です。
・学習項目または単元ごとに練習問題に取り組み、理解度のチェックをおこないます。充分な理解を得られないときは、補充プリントを配付し課題とします。
・企業における原価計算の役割や原価情報の有効な活用の仕方について理解できるように指導します。
・学習の成果を見るために、日商簿記検定（１１月・２月実施）と全商簿記実務検定（１月実施）を受験します。

３　学習の方法

・授業の板書をノートに写し、記帳方法の細部にまで気を配ることが大切です。
・問題の意図を正確に把握し、なすべき作業を組み立てることが求められます。板書のノートに自分なりの工夫点を書き加える必要もあります。
・演習を行うときは、基礎確認を行い、自分のレベルにあった問題を正確に解けるようにしていく必要があります。
・電卓の使用方法をマスターしておくことは言うまでもありませんが、計算力を要求される演習が数多くあります。電卓練習もしておきましょう。

４　課題・補習について

・年間４回の定期考査を実施し、考査前には問題集を提出します。
・夏季、冬季、春季休業中には課題が出され、休み明けに課題考査を行います。
　また、各単元の終了ごとに小テストも実施します。
・定期考査や小テストの結果により、理解が遅れている場合には補習を実施します。

５　この授業で取得可能な資格（検定試験）

・日商簿記検定　２級
・全商簿記実務検定　１級　原価計算

６　観点別学習状況の評価のポイント

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
原価計算に関する基礎的・基本的な知識や仕組みについて理論と実務を関連づけて理解するとともに、適正な会計処理を行う技術を身に付けている。	適正な会計処理を行うことを目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術をもとに、ビジネスの諸活動に携わるものとして、適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	原価計算について関心を持ち、適正な会計処理を行うことを目指して主体的に取り組む態度をもち、会計処理を行う実践的な態度を身に付けている。

ビジネス科　２年Ｄ組

教　　科	商　　業	科目(単位)	原価計算（５単位）

7　年間の学習計画

月	単　元　名	学　習　の　内　容	評価方法（課題等）
4	第１章 原価と原価計算	・製造原価と総原価の違い及び発生の形態、製品との関連、操業度との関連による原価要素の分類について学習する。さらに、サービス業における原価情報の活用の特徴について、具体的な事例を用いて学習する。	行動観察 小テスト
	第２章 原価計算のあらまし	・原価計算の目的、手続、期間、種類について学習する。 ・各種原価計算の意義と分類を捉える。	
	第３章 工業簿記の勘定連絡	・製造工程の特色、材料費、労務費、経費の計算から製品の完成、販売までの記帳の流れ及び製品ごとに利益を計算することの重要性について扱う。	
5	第４章 材料費	・材料費の分類、材料の仕入、払出、消費などにおける計算方法と仕訳について扱う。なお、材料の消費単価に関しては、原価法及び予定価格法について学習する。	行動観察 ノート点検 問題集点検
	第５章 労務費	・労務費の分類、賃金の支払、消費における計算方法と仕訳について扱う。なお、消費賃率に関しては実際賃率及び予定賃率について学習する。	**前期** **中間考査**
	第６章 経費	・経費の分類、消費高の計算方法と仕訳について学習する。	
6	第７章 個別原価計算	・原価計算表の作成、原価計算表と仕掛品勘定との関係、製造間接費の配賦、仕損と作業くずの処理方法について扱う。また、製造間接費差異の原因別分析に関して、公式法変動予算と固定予算を採用した場合の予算差異と操業度差異について学習する。	行動観察 小テスト
7	第８章 部門別個別原価計算	・部門別計算の目的及び原価部門の設定、部門個別費と部門共通費の区分について扱う。また、部門費配分表と部門費振替表の作成方法及び製造部門費の予定配賦の方法について学習する。	行動観察 小テスト
8 9	第９章 総合原価計算	・総合原価計算と個別原価計算の違い、月末仕掛品原価の計算方法について扱う。また、単純総合原価計算を中心として、等級別総合原価計算、組別総合原価計算に関して、それぞれの考え方と計算方法及び記帳法について学習する。	行動観察 ノート点検 問題集点検
	第 10 章 工程別総合原価計算	・工程がある場合の総合原価計算の計算方法について学習する。	**前期** **期末考査**
10	第 11 章 総合原価計算と減損・仕損じの発生など	・仕損と減損及び副産物の処理方法について学習する。	行動観察 小テスト
	第 12 章 製品の完成と販売	・製品の完成と販売の記帳法について学習する。 ・販売費及び一般管理費に関する分類、計算方法について学習する。	
	第 13 章 決算と本社工場間の取引	・工場会計が本社会計から独立している場合における、製品の完成や販売などに係る本社と工場間の取引の記帳法について学習する。 ・製造業における決算の特徴と手続、製造原価報告書の作成方法及び製造業と商品売買業の財務諸表の違いについて学習する。 ・製造原価報告書に関しては、製造間接費が実際配賦された場合及び予定配賦された場合の作成方法について学習する。	
11	第 14 章 標準原価計算 （その１）	・標準原価計算の目的、標準原価計算の一連の手続及びシングルプランとパーシャルプランによる記帳法について学習する。 **日商簿記検定　２級**	行動観察 ノート点検 問題集点検
	第 15 章 標準原価計算 （その２）	・直接材料費差異、直接労務費差異及び公式法変動予算と固定予算を採用した場合の３分法による製造間接費差異の分析について学習する。	**後期** **中間考査**

12	第 16 章 直接原価計算 （その１）	・直接原価計算の目的と方法、直接原価計算による損益計算書の作成方法及び全部原価計算による損益計算書との違いについて学習する。	行動観察 小テスト
	第 17 章 直接原価計算 （その２）	・直接原価計算が短期利益計画に有用な情報を提供できること及び原価、営業量、利益の関係を分析する方法について学習する。	
1 2 3	総復習	・全商簿記実務検定１級（原価計算）受験対策として過去問題を演習する。 **全商簿記実務検定　１級　原価計算** ・日商簿記検定２級受験対策として過去問題を演習する。 ・日商簿記検定２級合格者は、１級の学習をする。 **日商簿記検定　２級**	行動観察 ノート点検 問題集点検 **学年末考査**